

まさにアンビリバーボー！ 500ガンマのウォルターウルフ、久々見ました。80年代初頭の第三京浜保土ヶ谷PAならいざ知らず、ここは東名・海老名SA。今から行ってもう居ませんから！



SCOOP

名車ばかりが集まる PA発見!? と思ったら...



今度はサンパチとGT80にZ1、向こうには750SS、H2まで登場。こういうバイクが集まるPAがあったら面白いですね。こういう光景が見られるのがタイムトンネルリングの醍醐味だったりします。

2010 Time Tunnel Touring

キ~~~~ン.....



白煙とともに甲高い2サイクルサウンドを響かせながら加速するサンパチとマツハ。その後ろに控えるのはTriumphにBSAの英国車勢。目指すは西伊豆、もちやPA。名車が走る！

撮影●鈴木広一郎 主催●タイムトンネル <http://timt.co.jp/>



Unbelievable!!



タイムトンネルにCB400FにZ1。ここは何処、一体何年前の写真だっという感じが、これが現代なのがスゴイ！

マ ツハにヨンフォア、トライアンフにBSA。普段はコレクションホールにでも行かないとなかなか見ることが出来ない、まさに世界中の名車と呼ばれる貴重なバイク達が目の前を走り過ぎていく。そんな貴重な体験が出来るツーリングがあるのを、ご存じだろうか。それがタイムトンネルツーリング。そう、絶版車の殿堂として知れ渡ったあのタイムトンネル主催による、名車オーナーのために企画されたツーリングであり、今年で3年目を迎える。高速道路の二人乗りが許可されたことで、毎回、カメラマンとのタンデムランによる同行取材を行う本誌としても期待に胸膨らむところ。スタート地点となるタイムトン

ネルに向かうと早朝から減多に見られないようなバイクが早々と集まっている姿を発見！ 参加する名車オーナーにとってもワクワクするのは同じようだが、毎回参加台数が増えているということは、それだけ絶版車人気が盛り上がり続けていることの証か。
行き先は西伊豆、二輪車会館のある「もちや」。往復約300kmの日帰りツーリングとしては妥当だが、中には60年代の車両も多く、果たして全車無事完走出来るのか？ もちろんメカ3名と緊急時用にトランポが同行するからなにがあっても安心なのも、オーナーにとっても心強いポイント。それにしても参加者この表情、大人の遠足は成功した!?

Born to be Wild ♪



もはやツーリング常連の**利根川竹好さん**とZ1。「何回参加しても毎回サイコーです！楽しみといったらバイクしかないボクにとって一番の時間です。鬼が笑うかと思いますが、来年も絶対いく！」



「前回は走行中にサイレンサーが取れ、今回は右側のアジャスターボルトが吹き飛びましたが絶対調です。これも絶版車の楽しいところ!? ルート選択も良かったし、出来れば春も走りたい」と**及川勝さん**。

なぜかクルマが道を譲ってくれるんです。



「毎年このツーリングでお客様との距離が縮まる気がする嬉しいイベントです。バイク乗りとして同じ道、同じ時間を過ごせるのは幸せです」とスタッフの**伊藤浩さん**。

無敵の2st、ゴガンダブダブ見参!



このツーリングでは異色のWW仕様RG500「F」でのエントリーは**MICHAEL-Kさん**。れっきとした日本人だ。「浮きに浮いた」ですが、年輩者に負けず劣らずの存在感が自慢



61年式BSAロケットゴールドスターで初参加の**吉永大介さん**は70年生まれ。「20年近く連れ添った400Fから今年、このBSAに替えたばかりですが、もうキックにも慣れました。元々BSA大好きで、コレは一生モノです」



ボクより10歳も年上ですが、なにか!?



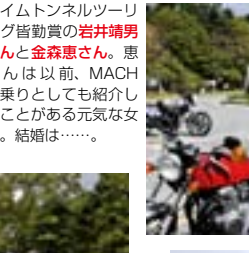
木下清源さん、58歳。「グローブすると感覚が鈍るから今でも400F乗るときは基本素手です」という昔ながらのライダーだ。「磨いて眺めながら飲む酒が最高」



扉ページでウイリーしている**坂和典さん**。「高校時代はGS、大人になったらH2と決めてました。毎日246を通勤してます。オイルはウクライナ製のXADOがいい」



「もちやの近所に住むトラック野郎の**倉田憲幸**です。ほぼ毎朝3時起きて埼玉まで走ってます。今日は用賀のタイムトンネルまで走って、また戻ってきました。変?」



タイムトンネルツーリング皆勤賞の**岩井靖男さん**と**金森恵さん**。恵さんは以前、MACHⅢ乗りとしても紹介したことがある元気な女性。結婚は……。



タイムトンネルスタッフの**平野健也さん**はいつもの愛車、KZ1000。「そのアナタもタイムトンネルでバイク手に入れたら一緒にツーリングに行きませんか! (笑)」

ちょっと笑顔が引きつる**星川店長**。荷台に載るのはTriumph TR25Wの**菅野喬之さん**と、名車TRITONオーナーの**佐藤秀樹さん**だ。なぜこの二人は走らないのか?



今年、7月30日にこのCBM72が購入したばかりの**柳沼亮さん**。「ホンダの2気筒が大好きです。でも、旧車会とは違いますが、なんか世界に挑戦するホンダっていう心意気がある気がします?」



このGSは2台目という**中城裕次郎さん**。「去年もGSで参加したら半年後に盗難に遭い、今年また新しく買い直しました。ローン地獄ついでに家も買って、GSは奥にしまっておいてます」

さすがナナニー、スーパースポーツ!!



日米The Wild One 対決!?



映画『乱暴者』でスクリーンを飾った名優マロン・ブランドになりきりの**Johneyさん**。名前も、そしてバイクも映画と同じで揃える超マニア。「月に1000kmはこれで走り回ってます」というリアルライダー。



I am Johney



名車に乗って、世界の名車を見に行くツーリングがあった!



「BGさんが一緒に走って写真まで撮ってくれるこのツーリングに参加したかったです。ようやく念願叶いました。トラボ同伴なので安心」と**春木憲昭さん**。



池田智史さんは「一度は乗ってみたいH2を今年買ったばかりです。速くはないけど、とてもスリリング。ツーリングしながら手に汗でした。でも楽しい!」



「このKHはスゴイ! 去年乗ったきりなのに、キック2発で掛かったんです」と**長野秀一さん**。「今回は2スト仲間も多くて、念願のもちやにも行けて大満足です」

橋本清さんは「このヨンフォアは半年に一回くらいしか乗る時間が取れないのに、今日もセル押しただけで掛かるいい奴。重い、ブレーキ効かない。でも、許せる奴です」



山口浩さんは「昔ローソン、今1000J。しばらくバンクがあったかのでこれくらいが丁度いい。人ちょっと変わったのが好き」